

令和4年度「県政モニター」テーマ通信

「人生会議（ACP:アドバンス・ケア・プランニング）について」 アンケート結果

※人生会議・・・もしものときのために、自らが望む医療やケアについて前もって考え、家族や知人等の周りの方と繰り返し話し合い、共有する取組のこと

【調査目的】

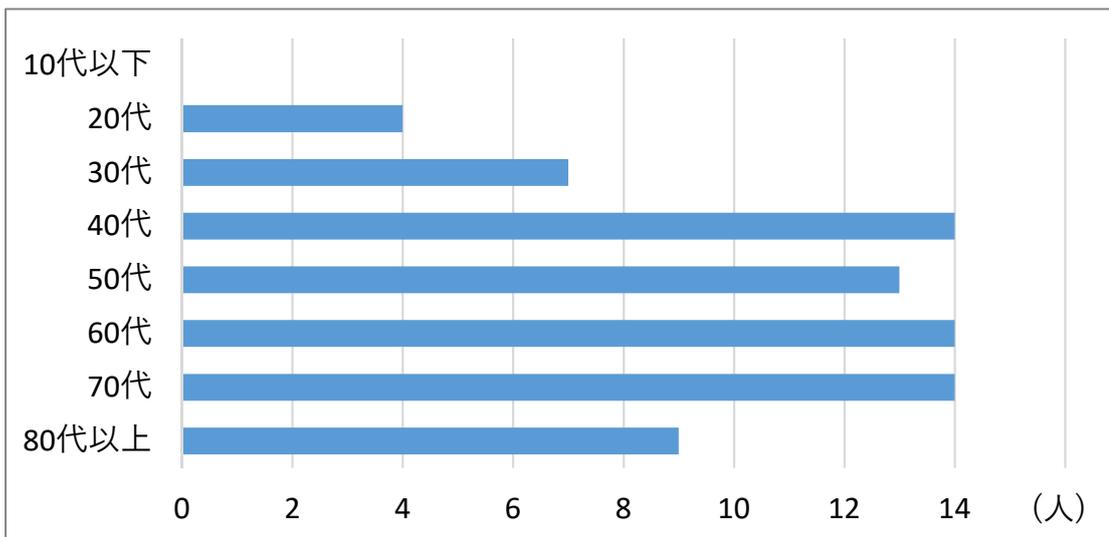
人生会議に関する認知度等の実態を把握し、今後の施策の参考とする。

【回答者数】

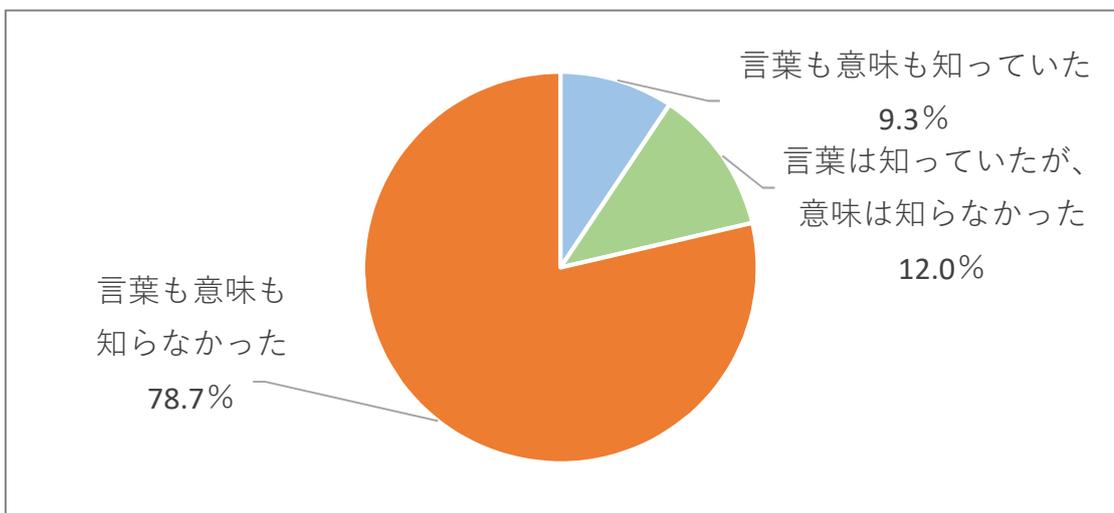
75名／110名（回答率68.1%）

【集計結果】

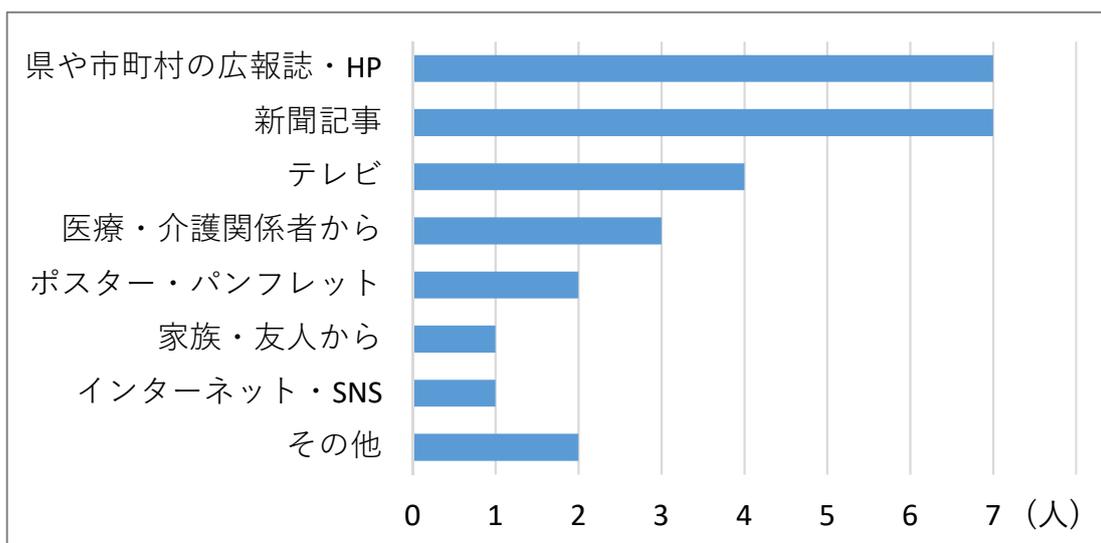
問1 あなたの年代を教えてください。



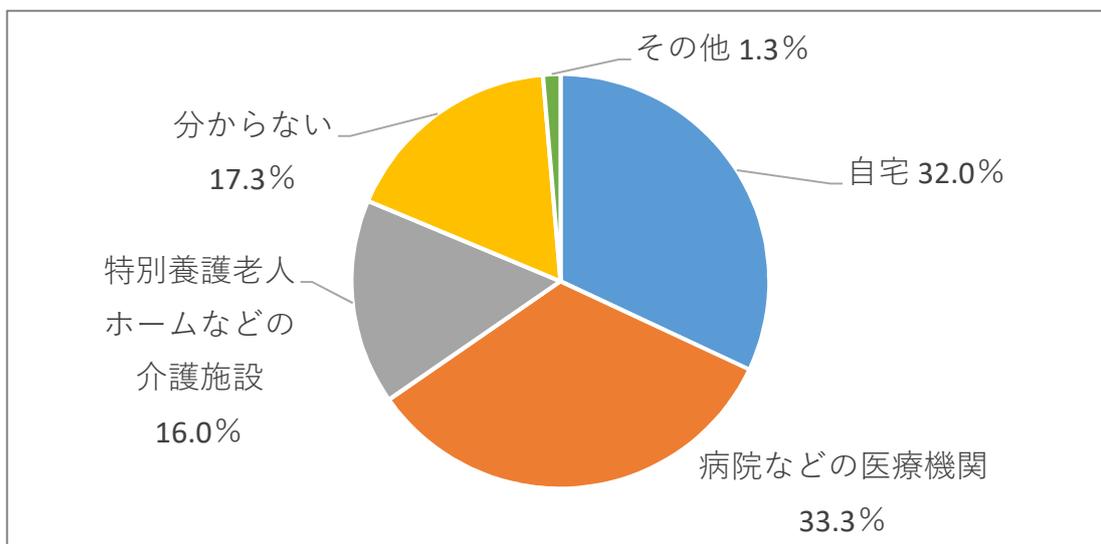
問2 「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」という言葉や意味をご存じでしたか？



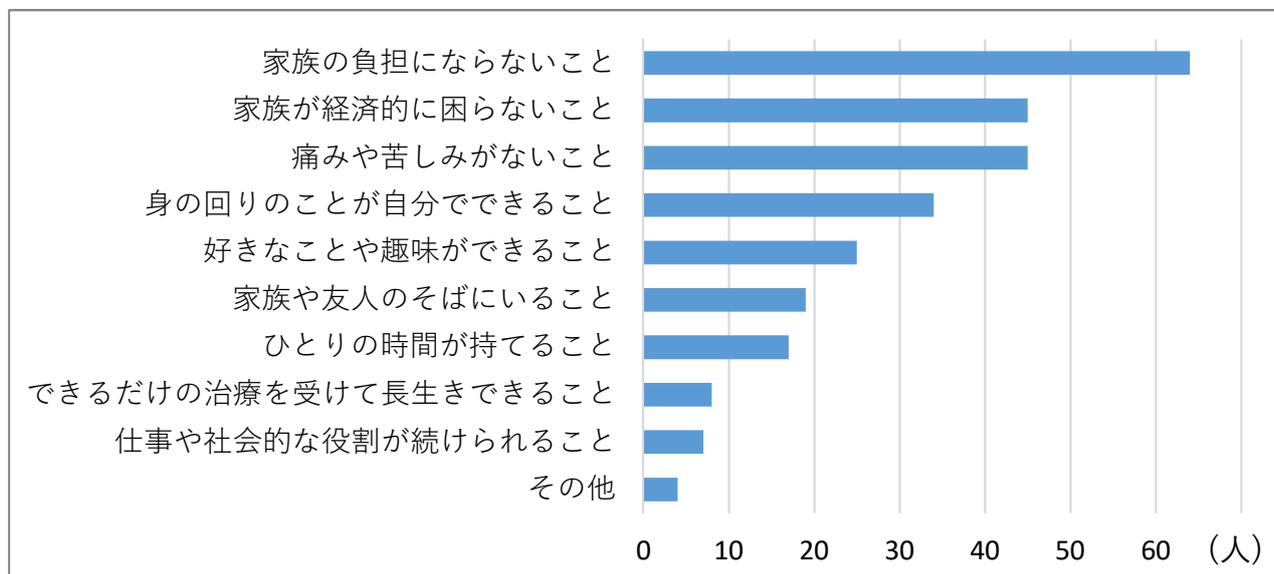
問3 人生会議（という言葉）を何でお知りになりましたか？（複数選択可）



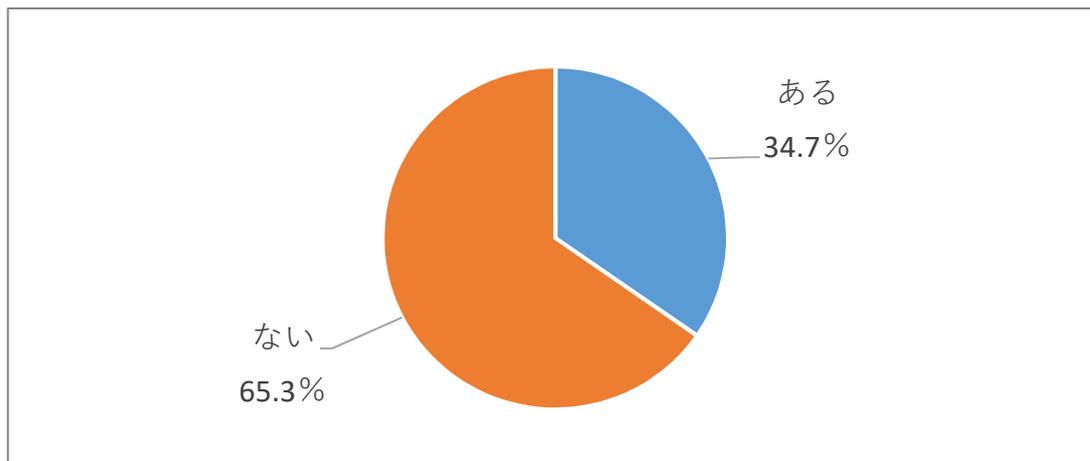
問4 あなたは治る見込みのない病気になった場合など、もしもの時が近くなったらどこで療養したいですか？



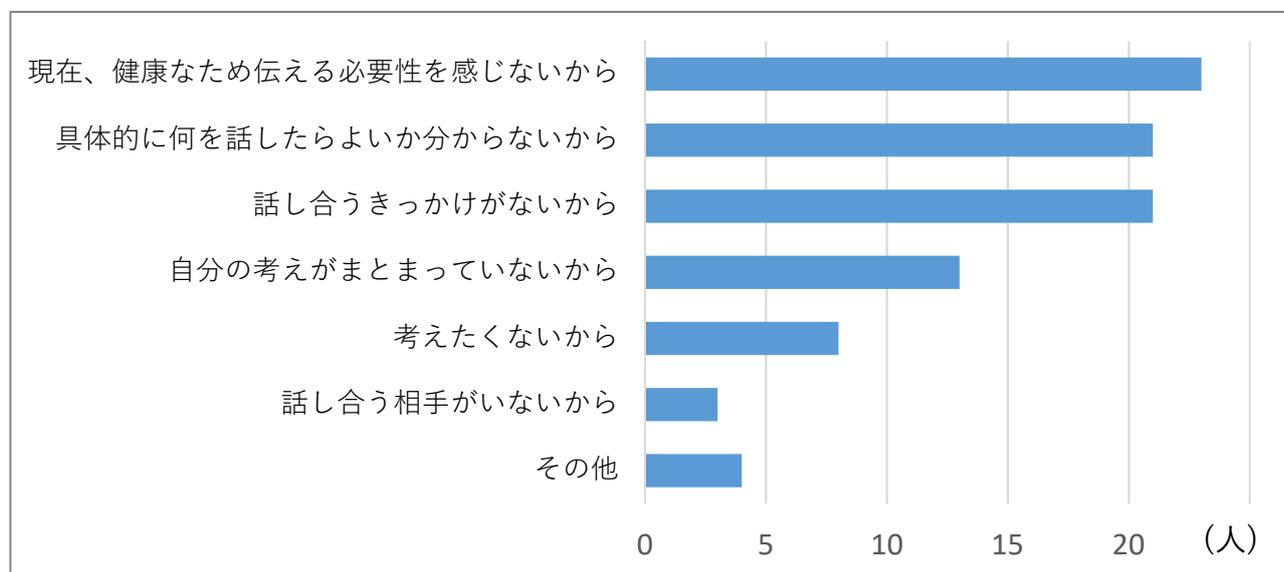
問5 治療を受ける際、あなたが大切にしたいことは何ですか？（複数選択可）



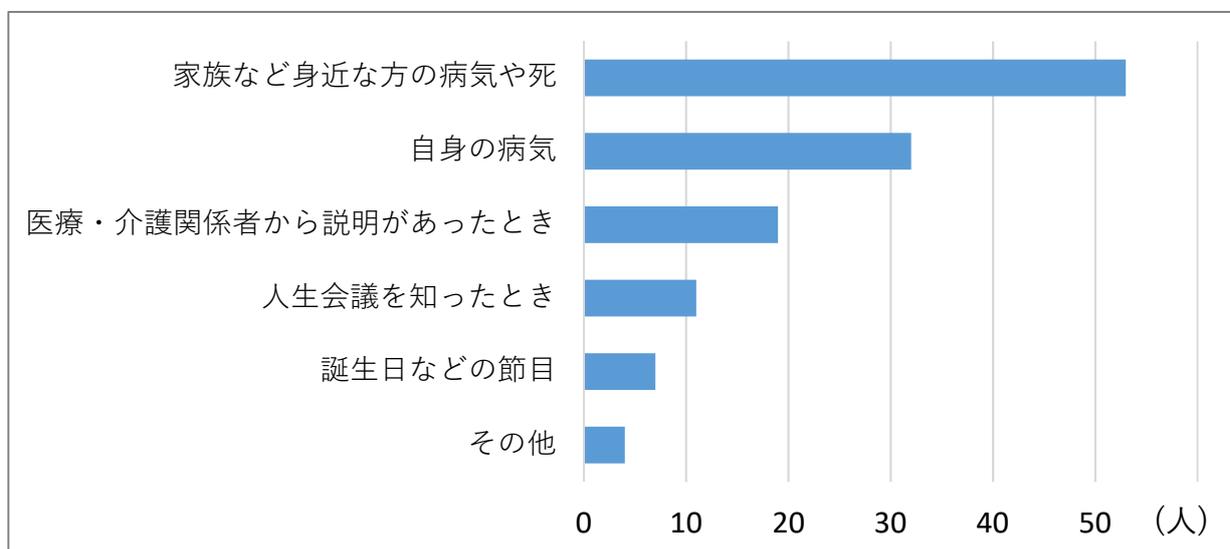
問6 ご自身やご家族の望む医療やケア等について、話し合ったことがありますか？



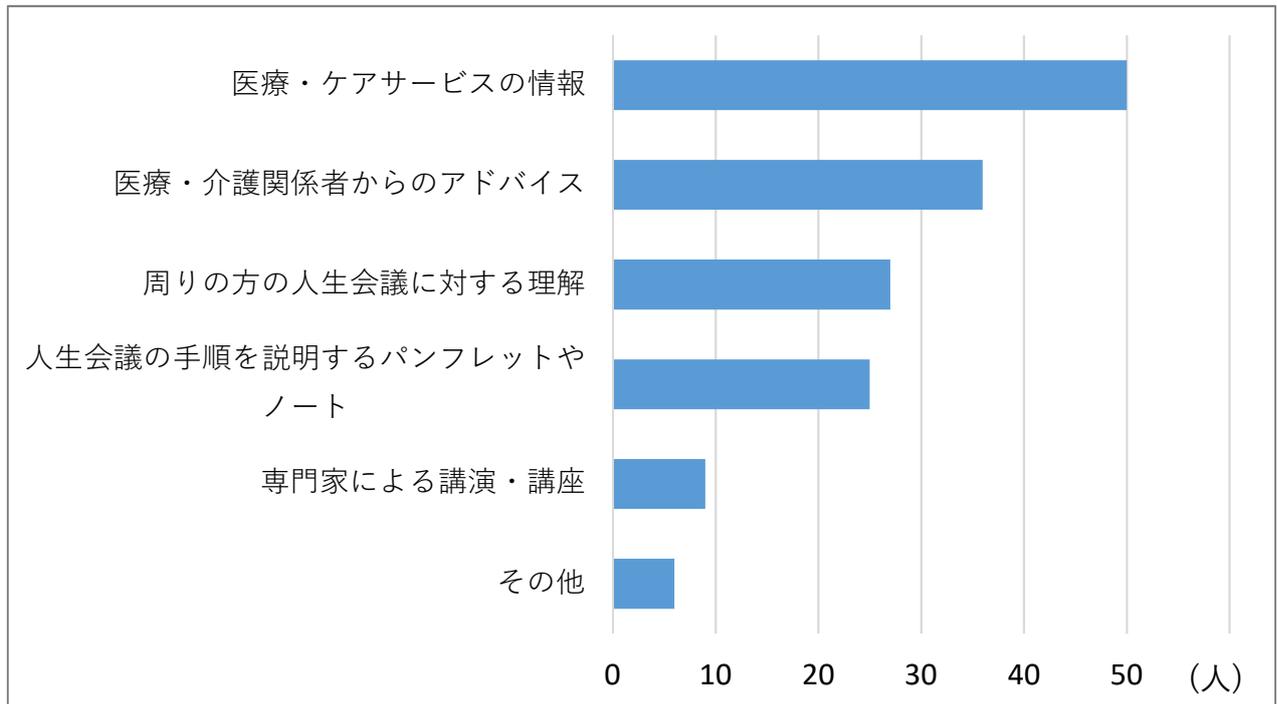
問7 問6で「ない」と答えた方は、その理由をお聞かせください。（複数選択可）



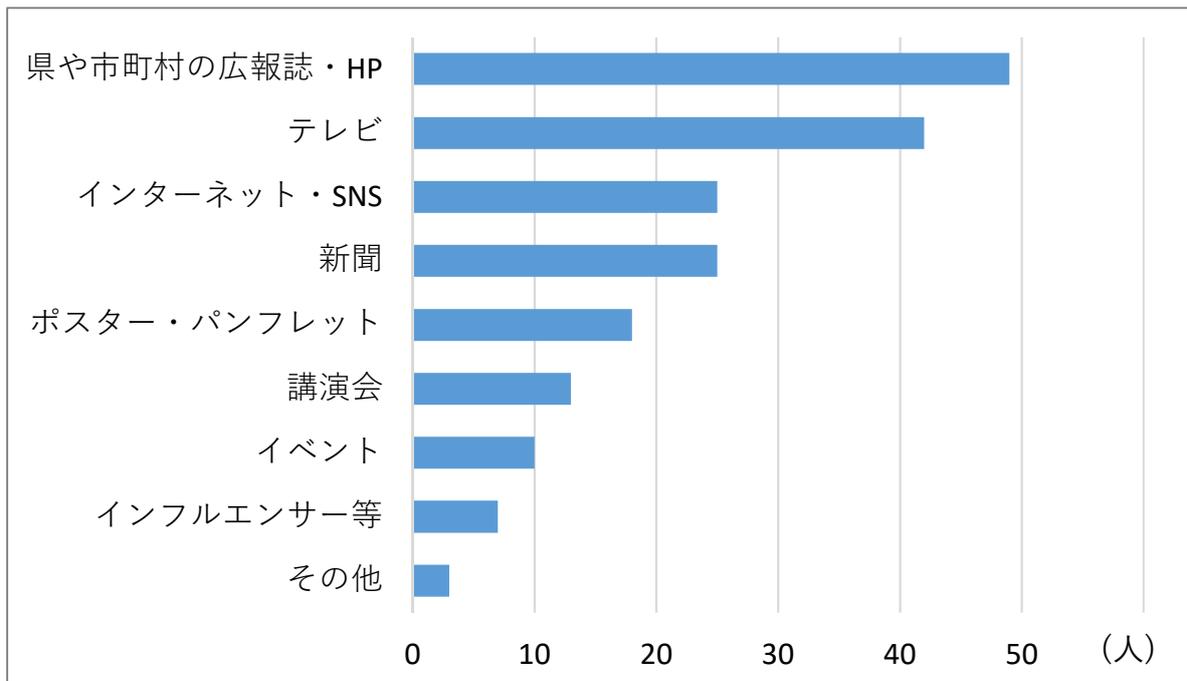
問8 「人生会議」を行うきっかけは何だと思いますか？行ったことがある方は、そのきっかけは何でしたか？（複数選択可）



問9 「人生会議」を行う場合に、必要なものは何だと思えますか？（複数選択可）



問10 「人生会議」について、皆様に知っていただくために、どのような広報が効果的だと思えますか？（複数選択可）



問11 その他、人生会議についてご意見があればご記入ください。

じいちゃん、ばあちゃん、どこまでケアしてほしいか？
二世帯住宅ですんでいるので、笑いながら話をすることがあります

素晴らしい取り組みだと思ったのが最初の感想です。私は人生会議の意味等を今回のモニターになった事で初めて知りましたが、多くの方々は知らないと思います。特に、独りで生活されている年配者の方々に対して成年後見人制度、終活、エンディングノート等の取り組みと同様の認知がされることを期待します。

もっと沢山のの人に知ってもらいたいです。自分の最期を上手にすごしたいと思いません。

夫婦で話し合い、どちらか先に行くまでに理解を深めたい。事前に準備、考えをまとめるきっかけに夫婦二人にとって人生会議は最後の話し合いなのかもしれません。

今回、このことばと意味を知り、世間ではどの程度、浸透しているんだろうと思う。ACPまでたどりつくことができずほとんどの人が他界しているのではないだろうか。入院時の場合は延命治療については家族との話し合いはしましたが。市報は読んでいますが、今回県政モニターをさせていただいて、初耳だということばかりで勉強させていただいています。

「人生会議」について、今後より深く勉強したいと想います。この会議は高齢世代だけではなく、若い世代にも認識してもらい、人生の早い時期から自分自身のもしもの時のために考え備えていく必要があると考えています。

高齢の両親を持ち、また自分自身も老齢に差し掛かろうとしている今、自分を含め周りの家族のこれからの終末を今のうちにしっかりと考え、また話し合っておかないといけないのだなと改めて考えてしまいました。是非、家族の誕生日や、年末年始など皆で集った折に、お話をする機会を持たねばいけないなと改めて思い直しております。

いろいろな人生会議のパターンを紹介する広報が必要。
実例を通して、自分に当てはめて考えるきっかけになる。

日々の仕事やいそがしさの中では考える余裕がない方が多いのではないかなと思います。自身や家族などの病気や死で現実性があると思います。そうなる前に人生会議が出来ておくとよいなと思います。

人生会議についてセミナーや講演会等で推進事項をしっかりと聞き、理解し、安心できる老後生活にしたい。
一人で生活している人が心配です（例えば身寄りがない、子どもがいない）人生会議でこのような実例もどのようにすればよいか学びたい。

※「その他ご意見」については抜粋しています。多数のご意見ありがとうございました。